

FIGO（国際産婦人科連合）の声明 COVID-19 流行中の人道的環境に おけるセクシュアル・リプロダク ティブ・ヘルス

2020年3月30日

翻訳：2021年4月23日

本翻訳について

これは、リプロダクティブ・ライツを考えるチーム（産婦人科医を含む）が FIGO（国際産婦人科連合）の声明文 “SRH in humanitarian settings during COVID-19” を有志で翻訳したものです。原文は、<https://www.who.org/srh-humanitarian-settings-during-covid-19-march-2020-guidance> をご確認ください。英語版と日本語版の間に矛盾がある場合は、英語版の原文が真正で拘束力があります。原文および参考文献は QR コードからご参照ください。



世界的な難民問題の及ぶ範囲

COVID-19 の流行によって、現在まで発展を遂げてきた世界のヘルスシステムが壊滅的な打撃を受けており、その影響は最も基本的なヘルスケアサービスにまで及んでおり、世界的に 7000 万人いる避難民はこの大流行からの早急な保護を必要としています。

人道的、倫理的、人権の問題から、私たちは皆、難民コミュニティを保護しなければと考えます。それでもやはり、このアウトブレイクの流行性の本質を考えると、難民居住地で起きた場合、破壊的な公衆衛生の問題につながるでしょう。

難民居住地は通常、人口密度が高く、人々は混雑したテントやコミュニティで生活しており、公衆衛生のインフラが整備されていない上に、仕事のために居住地と都市部との間を毎日のように頻繁に移動しています。また、まともな手洗いの設備があることも多くありません。

その結果、COVID-19 の流行は急速に広がる恐れがあり、主に女性と女子の性と生殖に関する健康に影響を与えています。

人道的環境で暮らす女性と子どもたちが非常に脆弱な集団となる状況

FIGO は、難民、国内避難民、移民女性と女子の 性と生殖に関する健康と福祉にさらなる焦点を当てることを世界的に提唱しています。私たちは、彼らの基本的な健康ニーズは、避難民であっても変わらないこと、また、避難自体が、彼らの性と生殖に関する健康と権利が侵害されるリスクを高める可能性があることを認識しています。

政策、財政、サービスレベルでの権利に基づいた介入

SRHR サービスには最低限以下の内容が含まれるべきです。

- ・ 利用可能なサービスに、どこで、どのようにアクセスできるかについての明確な情報
- ・ 緊急避妊（緊急避妊薬、加えて可能であれば銅付加 IUD（子宮内避妊具）の提供）
- ・ 長期間作用型可逆的避妊法（LARC）の継続的な使用のサポート
- ・ 安全な中絶ケアと避妊を含む中絶後ケア
- ・ （ミフェプリストンと）ミソプロストールによる薬剤による中絶と自己管理は明らかな利点があります
- ・ ヘルスケアプロバイダーへのサポートのみならず、「Women on Web」から行うことができる、女性への直接的なサポート
- ・ 定期的な LARC 除去/交換を一時的に延期することは可能です。WHO によると、避妊インプラントは 5 年間、銅付加 IUD（子宮内避妊具）は 12 年間使用の延長が可能です

産婦人科医の役割と倫理的義務

私たち産婦人科専門医、私たちの専修医・研修医の役割と倫理的義務は、性と生殖に関するヘルスサービスを必要としている人々に手を差し伸べること、社会的スティグマ・恐怖・人種差別を抑制すること、性と生殖に関するヘルスケアがエビデンスに基づいており権利の枠組みの中で提供されていることを確認することです。

現在の世界的なパンデミックと危機を考慮すると、私たちの直接ケアの対象となる女性たちが必要としているサービスやケアに確実にアクセスできるようにしなければなりません。また私たちは、女性の人権と生殖に関する権利にできる限りの注意を払い、女性の生涯にわたるケアを提供する必要があります。

住んでいる場所や法的地位にかかわらず、全ての女性と子どものこの権利は守られるべきです。その権利は、例えば政治的な混乱によってそのような危険にさらされていても、犠牲にされたり、妥協されたりすることはできません。

コロナウイルス(COVID-19)から自分自身と他の人を守る方法については、WHO のアドバイスに従ってください。

この声明は FIGO の人権・難民・女性への暴力に関する委員会の協力によってつくられました。